

ひきこもり
など

— 明治学院大学社会学部附属研究所主催 —

2025 年度



生きづらさのある当事者・経験者とともに 支援や社会のありかたを考える連続学習会



第1回 ひきこもり経験から問う社会保障 ～当事者のケイパビリティ（潜在能力）を支えるために～



2025年度の連続学習会は、2023年度より継続してきた「ひきこもり」に関する取り組みの一つの区切りとして、あらためて「支援」や「社会のありかた」を問い直すことを目的としています。2023年度の「地域創り担い手学習会」では、就労をゴールとする支援への違和感に着目し、当事者による居場所づくりの実践に学びました。

それを受けて実施した2023年度、2024年度の連続学習会では、主にひきこもり経験者による語りを起点として、支援や社会の構造について参加者と共に考える場を築いてきました。

「ひきこもり」は現在でも、治療や就労の問題としてのみ捉えられがちです。

しかしこのような理解は、当事者や家族の多様な状況や置かれている環境の複雑さを見えなくしてしまいます。

2025年度は全2回の開催を通じて、「社会保障」および「家族」に焦点を当て、当事者や家族が孤立せずに生きられる社会の可能性を探ります。



話題提供：としさん

（「ひき桜 in 横浜」運営。10年のひきこもり状態を経験。当事者活動と共に、

働きながら資格取得のために学び、2025年より社会福祉士。放送大学卒業）

対談：としさん × 関水徹平さん（本学社会福祉学科教員）

内容：話題提供、対談、小グループでの対話

日時：2025年7月11日（金）14:00～16:30

場所：明治学院大学白金キャンパス（詳細は参加者にお伝えします）

対象：ひきこもりなど生きづらさのある当事者、
経験者、家族、および支援者、地域活動者など

定員：30名（先着順）

申込：要事前申込。QRコードからの申し込み

それぞれの立場から
社会保障の課題について
語り合しましょう

締切 7/8



託児・手話通訳は
早めにご相談ください

【お問い合わせ】

明治学院大学社会学部附属研究所 担当：森・竹沢

メール：ssoudan@soc.meijigakuin.ac.jp 電話：03（5421）5205

